



手良小学校
だより

きらら

令和4年
5月20日
No.2



←詳細は
学校HP
どうぞ



自らの「からだ」と向き合い、より健康的に過ごせるように…

今年度も、引き続き手良小学校では、日本学校歯科医会・長野県歯科医師会・県教委指定による「生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業 研究指定校」として、健康づくりの活動に取り組んでいきます。



「1年生、初めての足育にチャレンジ！」

昨年度の保健委員会が作成したビデオをみながら、1年生が足育に挑戦しました。足の指を広げたり、担任の先生と足指じゃんけんをしたりして盛り上がりました。足の指で「チョコキ」「パー」をつくるのは難しいですが、周りのお友だちと教え合い、一生懸命取り組みました。これから少しずつたえていきましょう。

「ハピスマタイム始動！！」



今年度より、毎週水曜の朝は、健康に関する活動を行っていきます。初回となる4月13日は、考案者の保健委員会役員から、この時間の名称紹介がありました。名前は、「ハピスマタイム」です。(ハッピー + スマイル=ハピスマ)

この活動を通して、みんなが心も体も健康になり、**笑顔で、幸せに**暮らしてほしいという意味が込められています。



「自分の歯を知るハピスマタイム」

5月のハピスマタイムは、『お口確認カード』を使って自分の歯や口の中がどのような状態なのかを知る時間でした。

春の歯科検診をもとに、保健の先生が制作したカードに色ぬりをしていきます。歯の状態に分けて色ぬりをする…「この歯は歯ならびが悪くてみがきにくいんだとか、改めて確認できてよかったです。」「自分の歯ならびについてよく知れてよかったです。」と新たな気づきがあった子がたくさんいました。

子どもたちを見守ってくださる方に感謝して 見守り隊紹介式



登下校でお世話になっている、見守り隊の方々の紹介式がありました。

道に立っていただいたり、一緒に歩いていただいたり、いつもたくさんの地域の方が見守ってくださっています。

児童会長から、安全な登下校への決意と見守り隊の方々へのお礼の挨拶がありました。また、各地区に分かれて、隊員の方と顔合わせをしました。

見守り隊、子どもを守る安心の家…地域の皆様に守られていることを実感した会になりました。



自分の命は自分で守る…

交通安全教室が行われました

4月20日、好天のもと、校庭や学校周辺の道路を使用して、交通安全教室(歩行、自転車の練習)が行われました。手良小学校には、早朝より伊那警察署美篤派出所、伊那市役所生活環境課、手良地区交通安全協会、PTA校外指導部の皆様、総勢17名の皆さんにご来校いただき、直接子どもたちに指導をしていただきました。

校庭での自転車走行練習は、実際の道路を想定しながら、発進時の後方確認、交差点での安全な横断の仕方や安全確認など、自分の命を守るための大切な動きの練習を繰り返し行いました。慎重に、そして真剣に練習に取り組みました。



停車時は必ず左足をつくこと、発進時のペダルの位置など、まだまだいくつかの課題はあります。今日練習したことを、ぜひ今後の運転に活かしてほしいですね。

警察署の方からは「なぜ正しい乗り方を覚えるのか？」という問いかけとともに、事故に遭った時の悲しさについて触れ、自分の身を守ることを大切に、楽しい学校生活を送ってほしいという願いを語って

いただきました。

校長からは、怖さを感じ、ゆっくり行こうとする気持ちがあれば99%事故に遭わない。でもルールを守らない車もある。周りをよく見て安全に自転車に乗ってほしい、というお話がありました。

